

省エネルギー計画書

ビル

事務所等

第一号様式(第一条関係)(A4)

届出書

(第一面)

エネルギーの使用の合理化に関する法律(以下「法」という。)第75条第1項前段又は法第75条の2第1項前段の規定による届出をします。この届出書に記載の事項は、事実と相違ありません。

所轄行政庁 福岡県知事 様

平成 23 年 2 月 1 日

届出者氏名 株式会社 省エネ不動産 江古太郎



【届出の別】

- 第一種特定建築物(法第75条第1項前段の規定による届出)
 第二種特定建築物(法第75条の2第1項前段の規定による届出)

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

特定建築主等の概要

【1.特定建築主等】

【イ.氏名のフリガナ】 カブシキガイシャ ショウエネフドウサン エコタロウ
【ロ.氏名】 株式会社 省エネ不動産 江古太郎
【ハ.郵便番号】 112-0014
【ニ.住所】 東京都文京区関口1-1-1
【ホ.電話番号】 03-0000-0000

【2.代理者】

【イ.氏名】 江古次郎
【ロ.勤務先】 株式会社 省エネ建設
【ハ.郵便番号】 112-0014
【ニ.所在地】 東京都文京区関口1-1-1
【ホ.電話番号】 03-0000-0000

【3.設計者】

【イ.氏名】 江古次郎
【ロ.勤務先】 株式会社 省エネ建設
【ハ.郵便番号】 112-0014
【ニ.所在地】 東京都文京区関口1-1-1
【ホ.電話番号】 03-0000-0000

【4.建築物及びその敷地の概要】

【イ.所在地】 福岡県福岡市中央区天神5-9-2
【ロ.名称】 ビル
【ハ.用途】 事務所等
【ニ.構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造
 その他 ()
【ホ.階数】 地上 5 階 地下 0 階
(届出部分) (届出以外の部分) (合計)
【ヘ.床面積の合計】 (560.46 m²) (0 m²) (560.46 m²)

【5.工事着手予定年月日】 平成 23 年 2 月 28 日

【6.工事完了年月日】 平成 23 年 11 月 30 日

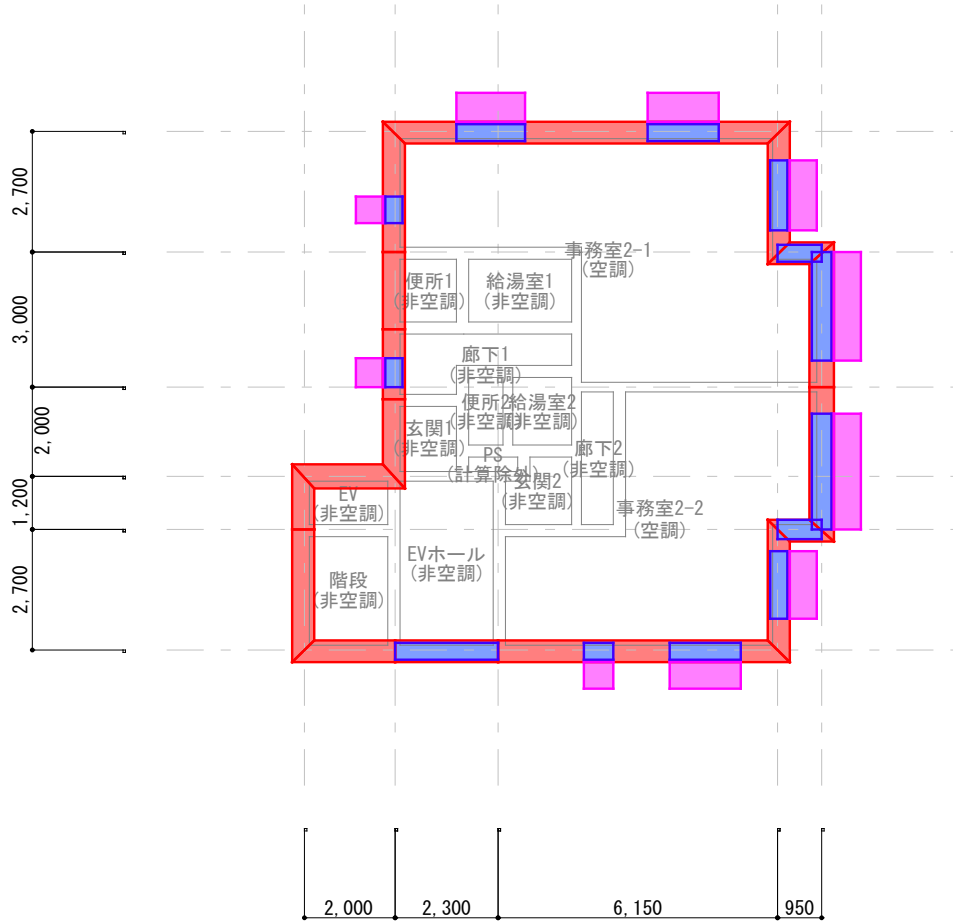
【7.備考】

「省エネルギー計画書」

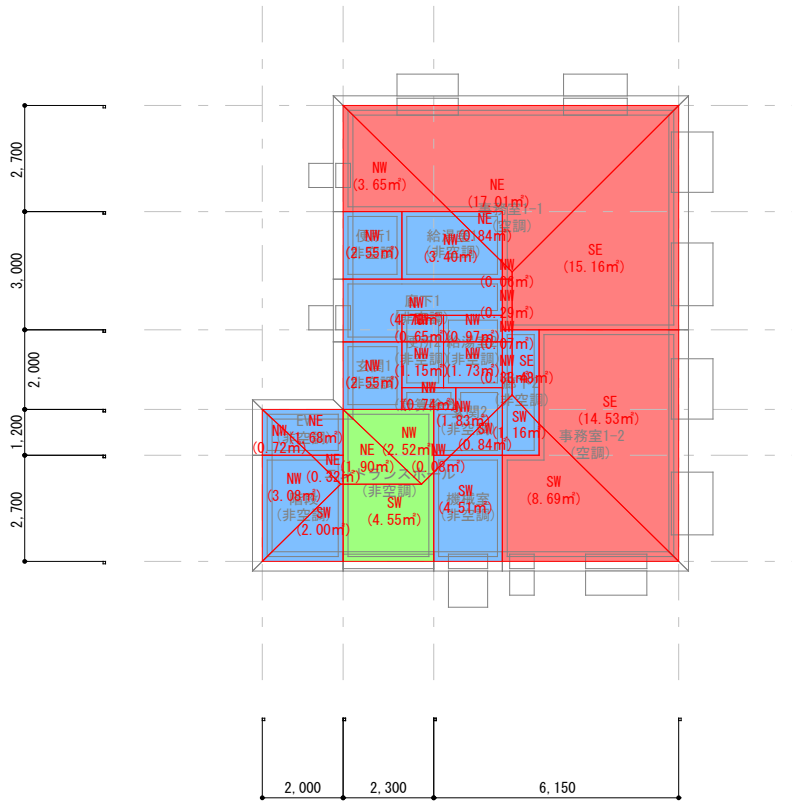
平成23年2月1日 作成

建築主	社名及び氏名	株式会社 省エネ不動産 江古太郎			
	住所	東京都文京区関口1-1-1	TEL	03-0000-0000	
計画書作成者氏名		株式会社 省エネ建設 江古次郎			
工事着手予定年月日		平成 23 年	2 月	28 日	
適用した基準		事務所等			
建築物の概要	名称	ビル			
	建設地	福岡県福岡市中央区天神5-9-2 標高: 300m未満 適用地域: J			
	用途	事務所等			
	工事種別	新築			
	高さ	15 m	階数	地上 5 階	地下 0 階
	構造	鉄筋コンクリート造			
	敷地面積	154.47 m ²	建築面積	111.71 m ²	
	延べ面積	560.46 m ²	うち地上部分	m ²	
	<ul style="list-style-type: none"> ホテル等 m² 病院等 m² 物販店舗等 m² 事務所等 m² 学校等 m² 飲食店等 m² 集会所等 m² 工場等 m² その他 m² 		<ul style="list-style-type: none"> ホテル等 m² 病院等 m² 物販店舗等 m² 事務所等 m² 学校等 m² 飲食店等 m² 集会所等 m² 工場等 m² その他 m² 		

基準階プラン

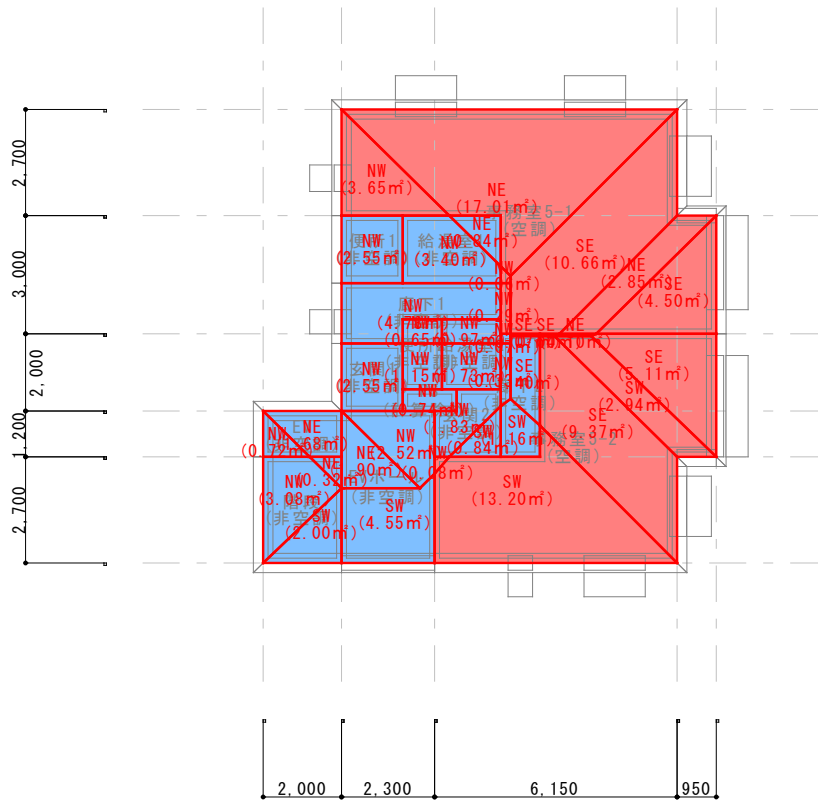


主要構造部の標準仕様の断面	外壁	屋根	窓	外床
	WAL-01	ROF-01	GLASS-01	CEI-01
	タイル 10mm モルタル 25mm 普通コンクリート 180mm スチレン発砲板(押出) 25mm 密閉中空層 25mm 石膏板、ラスボード 12mm	アスファルト類 10mm 硬質ウレタン発砲板 35mm 防湿紙類 10mm 普通コンクリート 150mm スチレン発砲板(押出) 25mm 非密閉中空層 50mm ラスボード 9mm	一般:複層ガラス 透明:フロートガラス 中空層 透明:フロートガラス 明色ブラインド	合成樹脂・リノリウム 1.5mm モルタル 20mm 普通コンクリート 130mm 密閉中空層 25mm スチレン発砲板(押出) 25mm



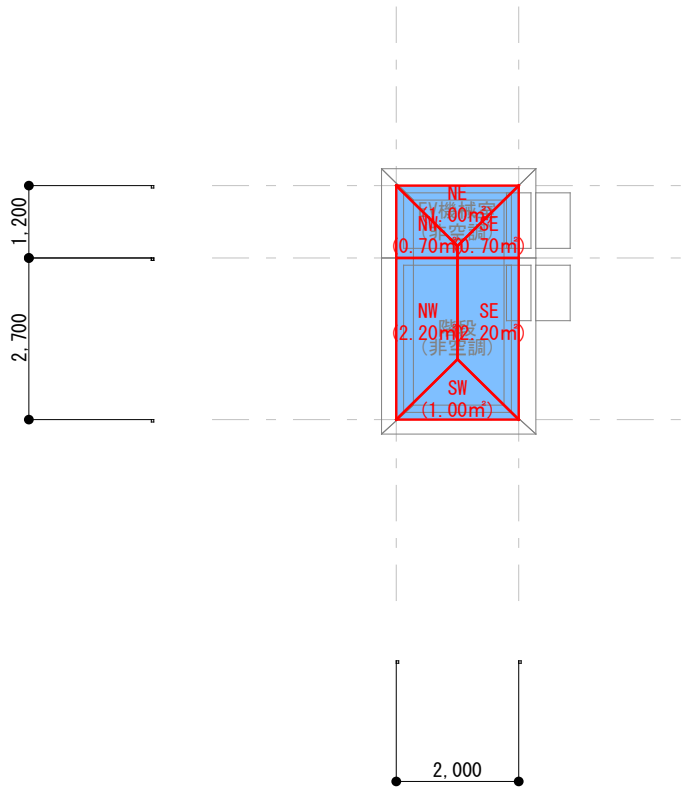
■ 空調/主用途
 ■ 空調/非主用途
 ■ 非空調/主用途
 ■ 非空調/非主用途

1階 平面図1(平面図+ペリメーターゾーン)

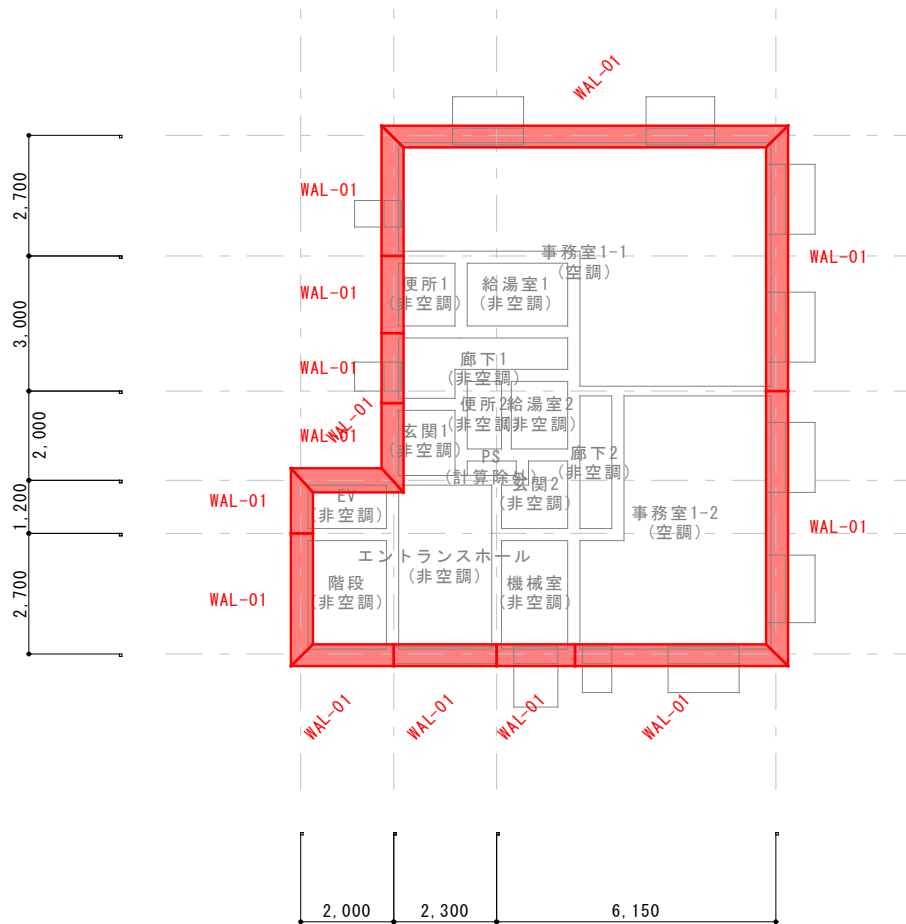


■ 空調/主用途
 ■ 空調/非主用途
 ■ 非空調/主用途
 ■ 非空調/非主用途

5階 平面図1(平面図+ペリメーターゾーン)

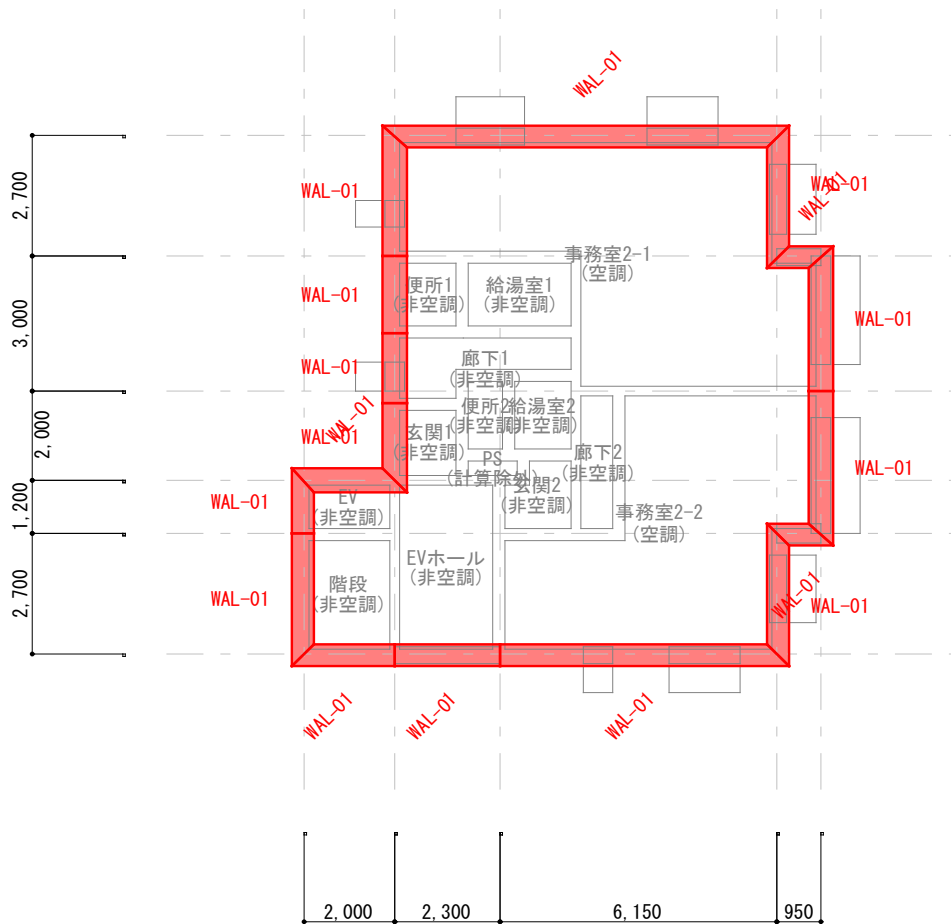


R階 平面図1(平面図+ペリメーターゾーン)



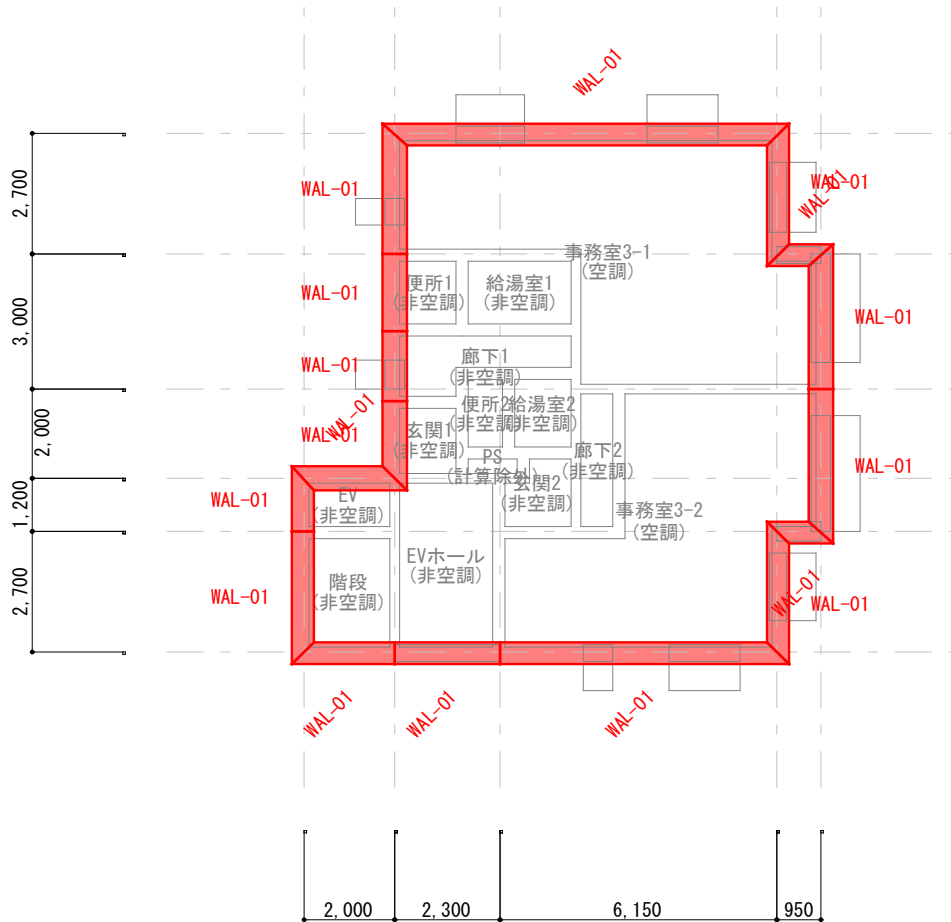
1階 平面図2(平面図+外壁)

WAL-01	タイル	10mm
	モルタル	25mm
	普通コンクリート	180mm
	スチレン発砲板(押出)	25mm
	密閉中空層	25mm
	石膏板、ラスボード	12mm



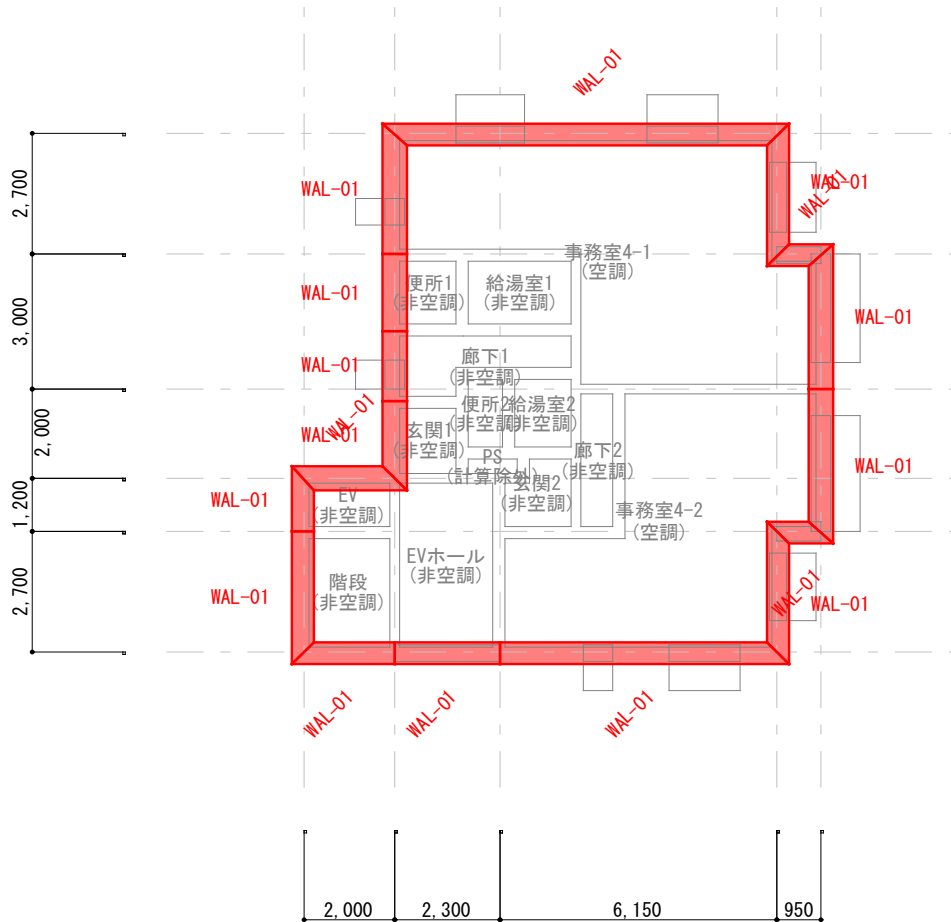
2階 平面図2(平面図+外壁)

WAL-01	タイル	10mm
	モルタル	25mm
	普通コンクリート	180mm
	スチレン発砲板(押出)	25mm
	密閉中空層	25mm
	石膏板、ラスボード	12mm



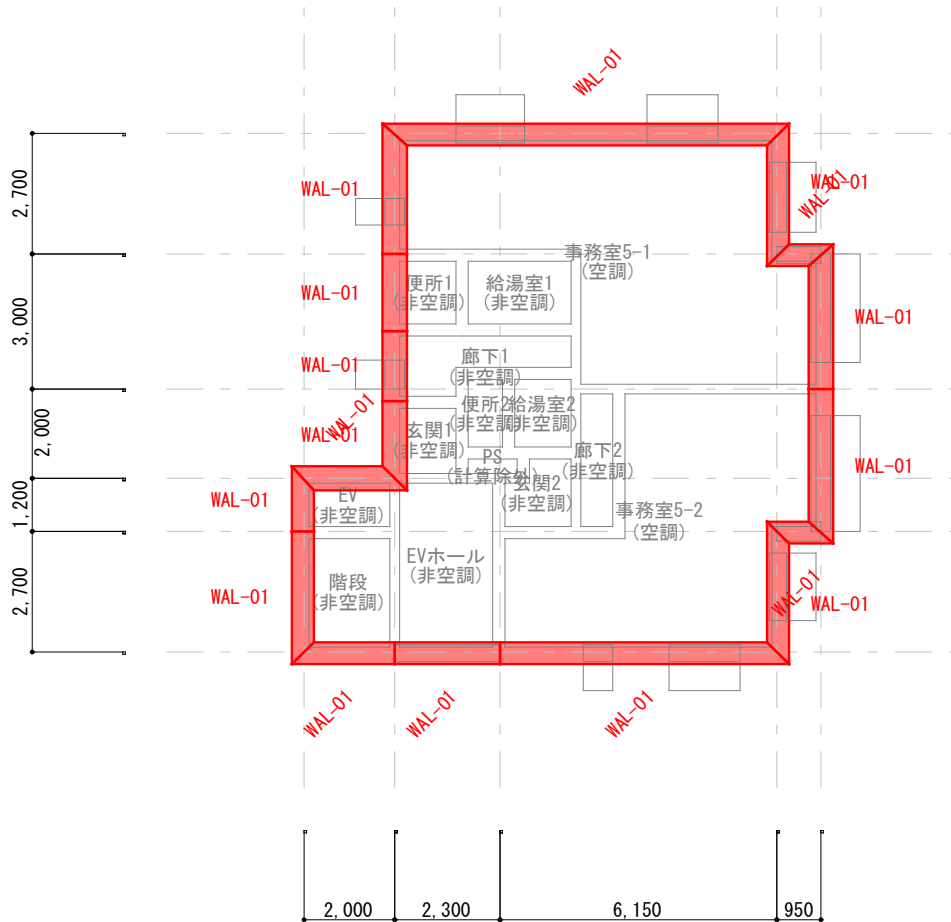
3階 平面図2(平面図+外壁)

WAL-01	タイル	10mm
	モルタル	25mm
	普通コンクリート	180mm
	スチレン発砲板(押出)	25mm
	密閉中空層	25mm
	石膏板、ラスボード	12mm



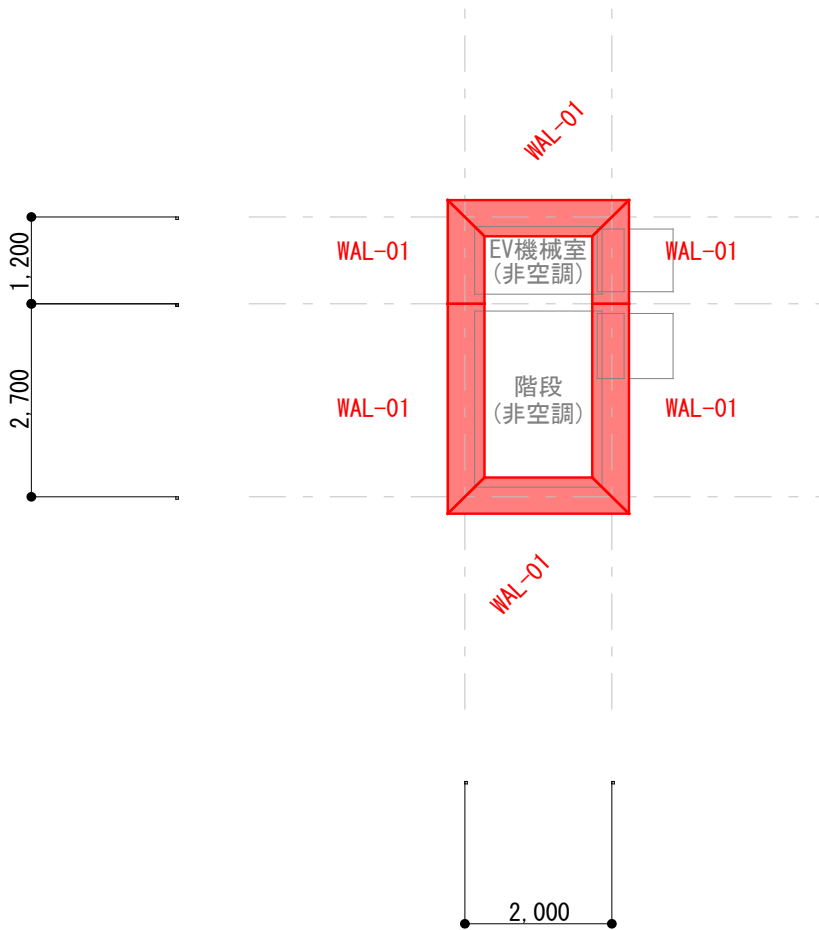
4階 平面図2(平面図+外壁)

WAL-01	タイル	10mm
	モルタル	25mm
	普通コンクリート	180mm
	スチレン発砲板(押出)	25mm
	密閉中空層	25mm
	石膏板、ラスボード	12mm



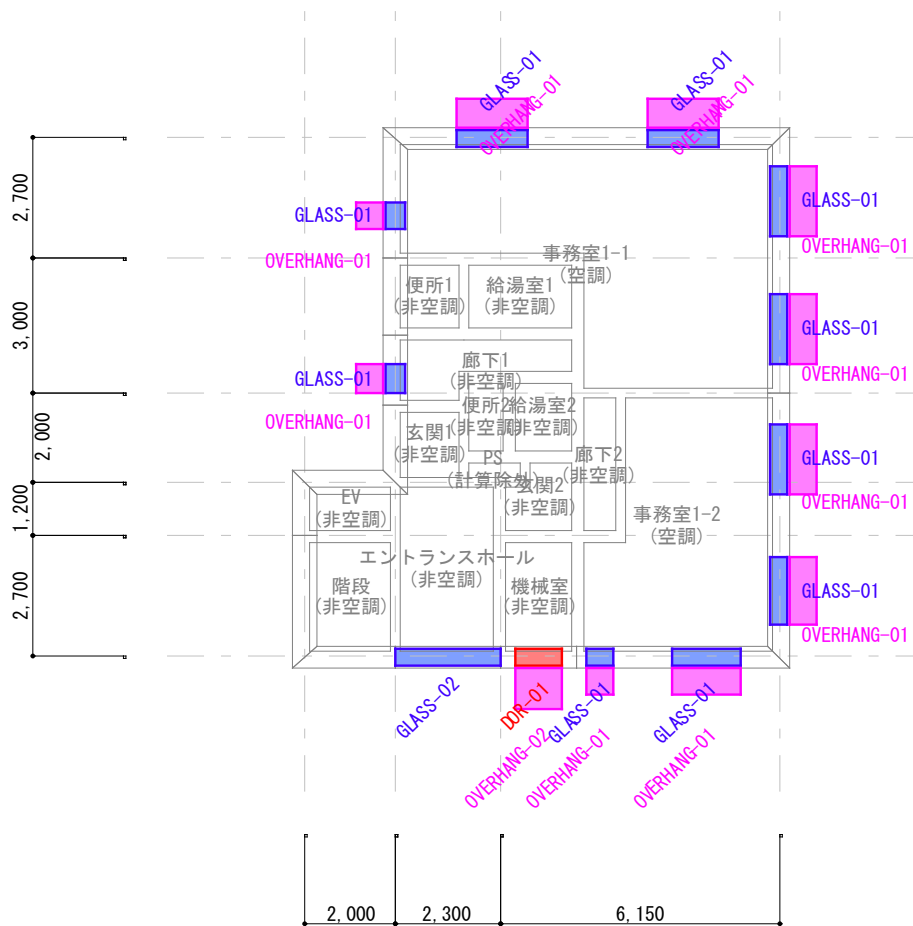
5階 平面図2(平面図+外壁)

WAL-01	タイル	10mm
	モルタル	25mm
	普通コンクリート	180mm
	スチレン発砲板(押出)	25mm
	密閉中空層	25mm
	石膏板、ラスボード	12mm



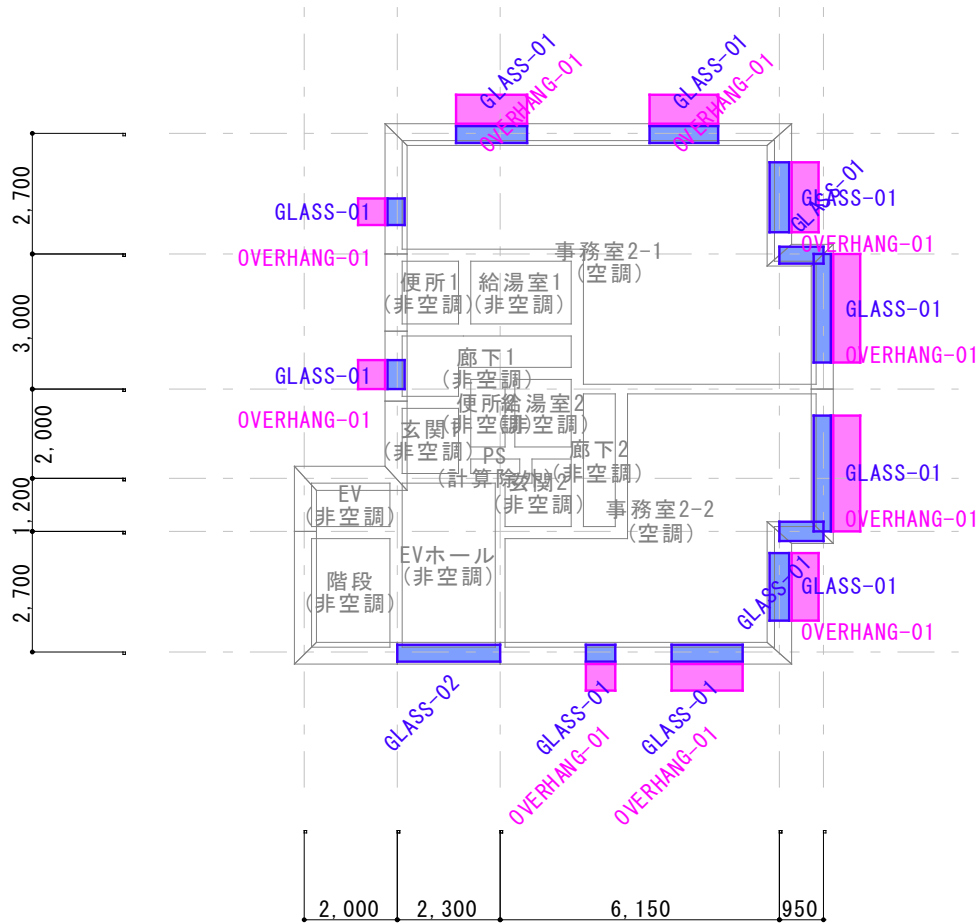
R階 平面図2(平面図+外壁)

WAL-01	タイル	10mm
	モルタル	25mm
	普通コンクリート	180mm
	スチレン発砲板(押出)	25mm
	密閉中空層	25mm
	石膏板、ラスボード	12mm



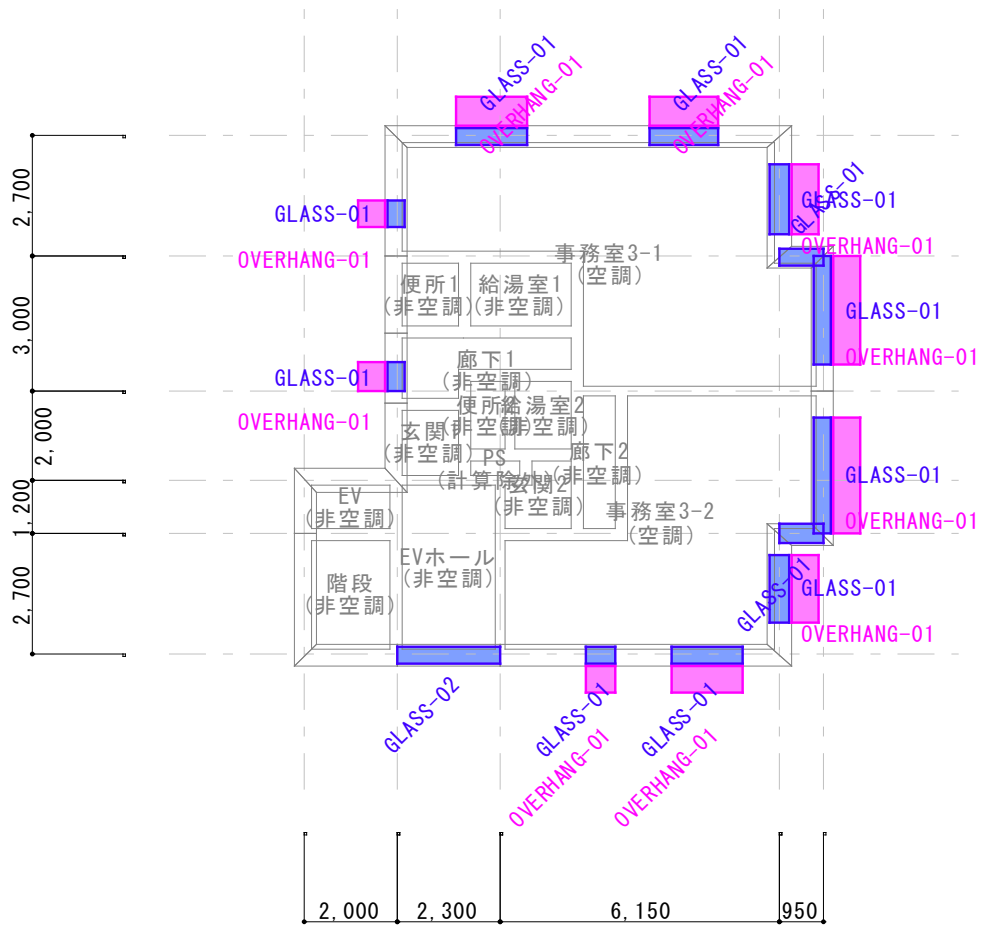
1階 平面図3(平面図+開口部)

GLASS-01	複層フロートガラス + 透明	6.0mm	ブラインドあり	透明
GLASS-02	複層熱線反射ガラス + 透明	6.0mm	ブラインドなし	ブルー



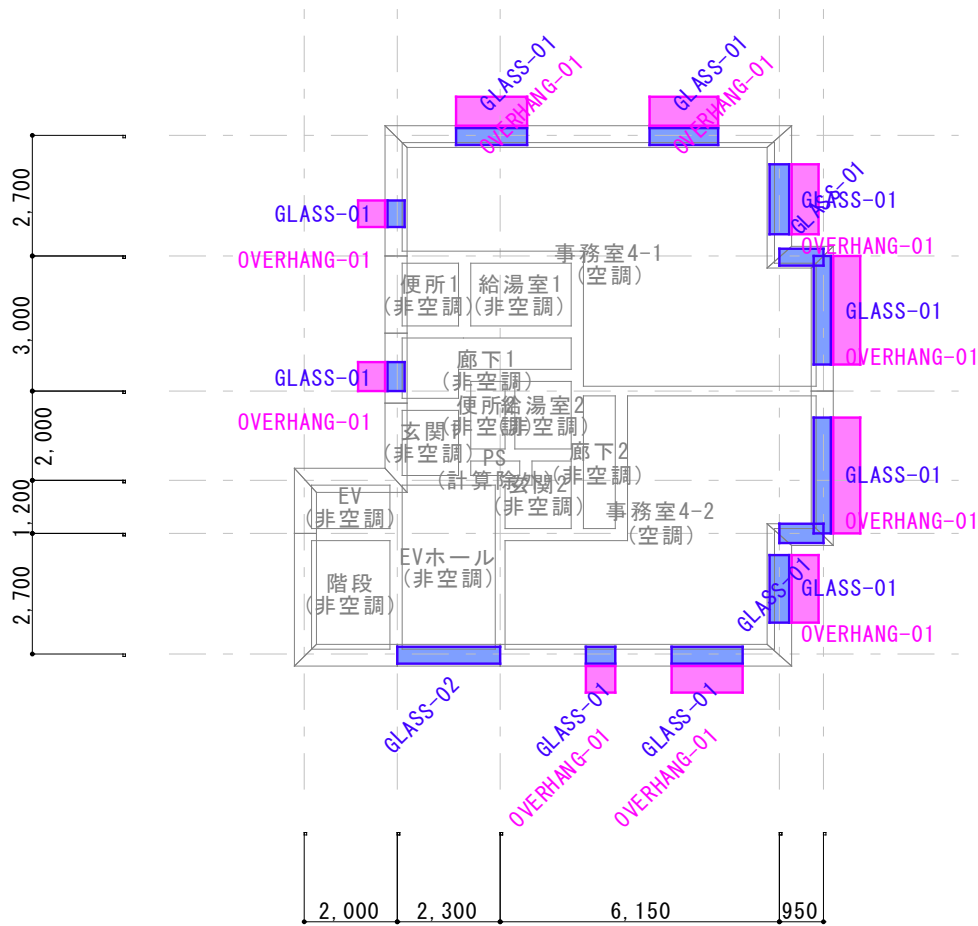
2階 平面図3(平面図+開口部)

GLASS-01	複層フロートガラス + 透明	6.0mm	ブラインドあり	透明
GLASS-02	複層熱線反射ガラス + 透明	6.0mm	ブラインドなし	ブルー



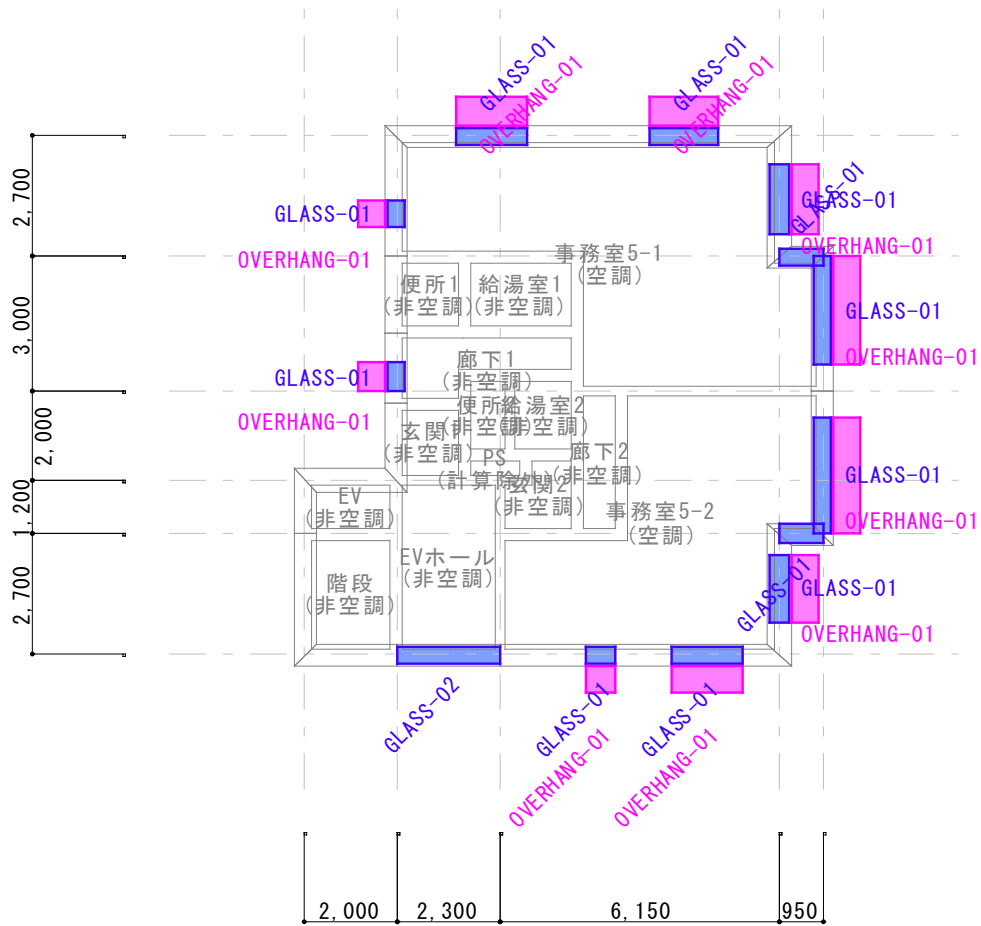
3階 平面図3(平面図+開口部)

GLASS-01	複層フロートガラス + 透明	6.0mm	ブラインドあり	透明
GLASS-02	複層熱線反射ガラス + 透明	6.0mm	ブラインドなし	ブルー



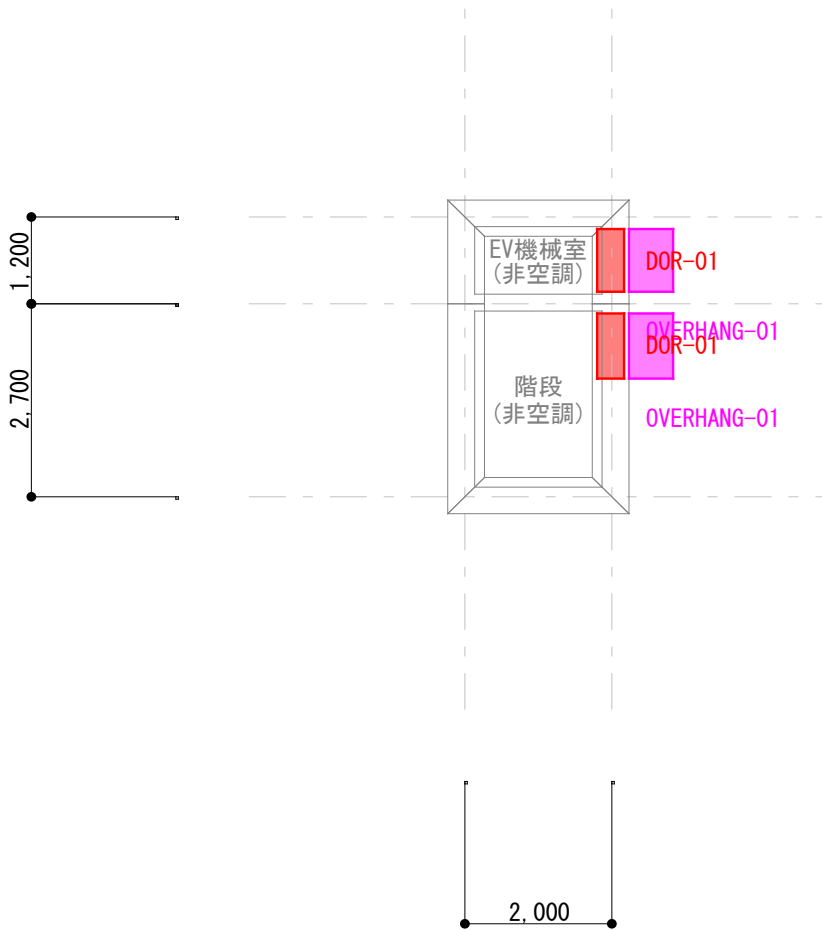
4階 平面図3(平面図+開口部)

GLASS-01	複層フロートガラス + 透明	6.0mm	ブラインドあり	透明
GLASS-02	複層熱線反射ガラス + 透明	6.0mm	ブラインドなし	ブルー



5階 平面図3(平面図+開口部)

GLASS-01	複層フロートガラス + 透明	6.0mm	ブラインドあり	透明
GLASS-02	複層熱線反射ガラス + 透明	6.0mm	ブラインドなし	ブルー



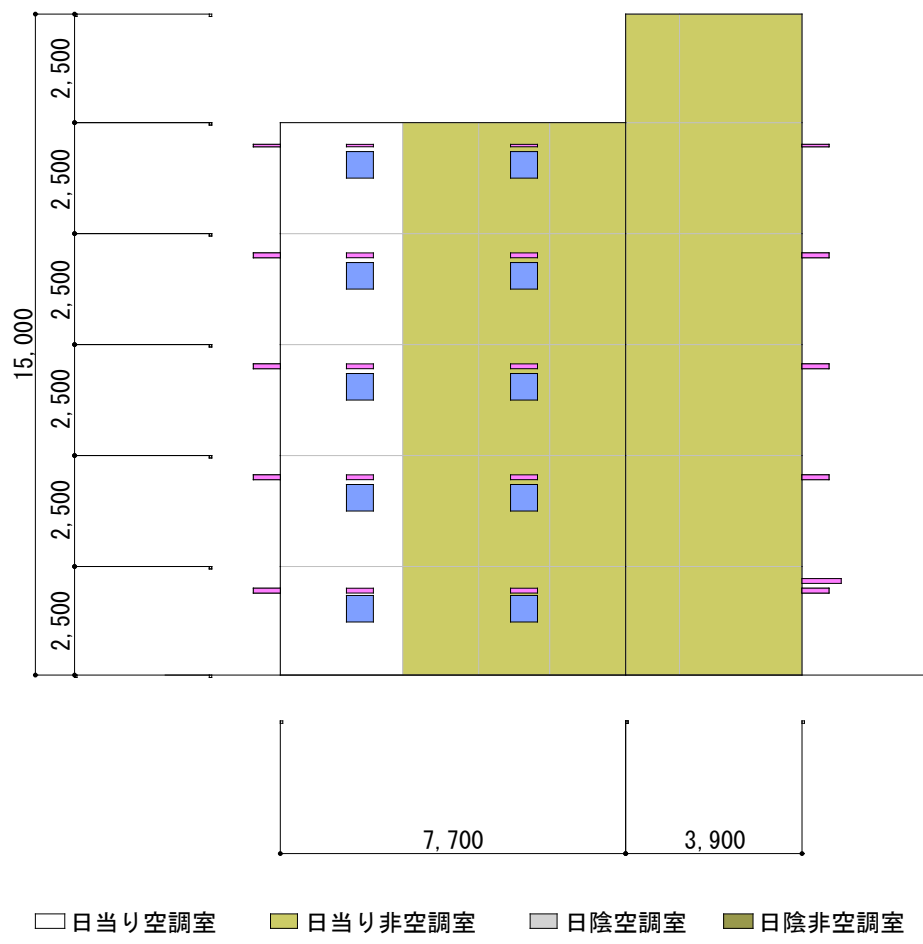
R階 平面図3(平面図+開口部)

ゾーン面積表

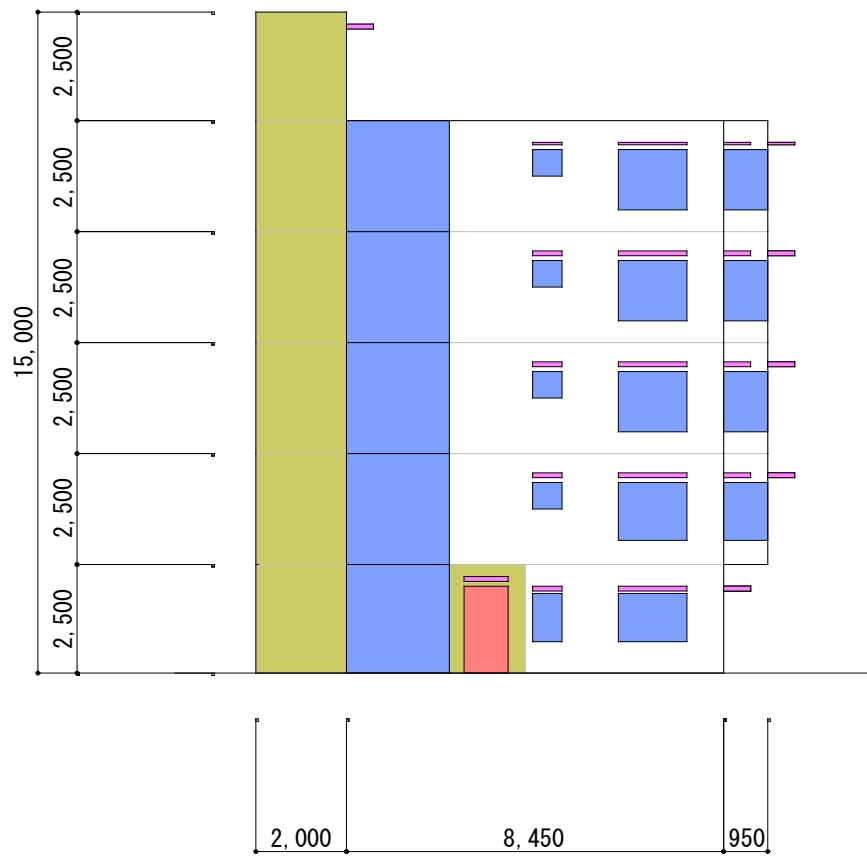
階	方位		ゾーン 床面積(m ²)	空調床面積(m ²)		非空調 床面積(m ²)
				日当	日陰	
1F	NW	小計	—	4.002	0.000	—
		計	30.417		4.002	26.415
	SW	小計	—	8.690	0.000	—
		計	21.751		8.690	13.061
	SE	小計	—	29.682	0.000	—
		計	31.159		29.682	1.477
	NE	小計	—	17.006	0.000	—
		計	21.751		17.006	4.745
	H1	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
	H2	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
2F	NW	小計	—	4.082	0.000	—
		計	30.417		4.082	26.335
	SW	小計	—	16.145	0.000	—
		計	24.696		16.145	8.551
	SE	小計	—	29.682	0.000	—
		計	31.159		29.682	1.477
	NE	小計	—	19.951	0.000	—
		計	24.696		19.951	4.745
	H1	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
	H2	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
3F	NW	小計	—	4.082	0.000	—
		計	30.417		4.082	26.335
	SW	小計	—	16.145	0.000	—
		計	24.696		16.145	8.551
	SE	小計	—	29.682	0.000	—
		計	31.159		29.682	1.477
	NE	小計	—	19.951	0.000	—
		計	24.696		19.951	4.745
	H1	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
	H2	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
4F	NW	小計	—	4.082	0.000	—
		計	30.417		4.082	26.335
	SW	小計	—	16.145	0.000	—
		計	24.696		16.145	8.551
	SE	小計	—	29.682	0.000	—
		計	31.159		29.682	1.477
	NE	小計	—	19.951	0.000	—
		計	24.696		19.951	4.745
	H1	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
	H2	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000

ゾーン面積表

階	方位		ゾーン 床面積(m ²)	空調床面積(m ²)		非空調 床面積(m ²)
				日当	日陰	
5F	NW	小計	—	4.082	0.000	—
		計	30.417		4.082	26.335
	SW	小計	—	16.145	0.000	—
		計	24.696		16.145	8.551
	SE	小計	—	29.682	0.000	—
		計	31.159		29.682	1.477
	NE	小計	—	19.951	0.000	—
		計	24.696		19.951	4.745
	H1	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
	H2	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
RF	NW	小計	—	0.000	0.000	—
		計	2.900		0.000	2.900
	SW	小計	—	0.000	0.000	—
		計	1.000		0.000	1.000
	SE	小計	—	0.000	0.000	—
		計	2.900		0.000	2.900
	NE	小計	—	0.000	0.000	—
		計	1.000		0.000	1.000
	H1	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000
	H2	小計	—	0.000	0.000	—
		計	0.000		0.000	0.000

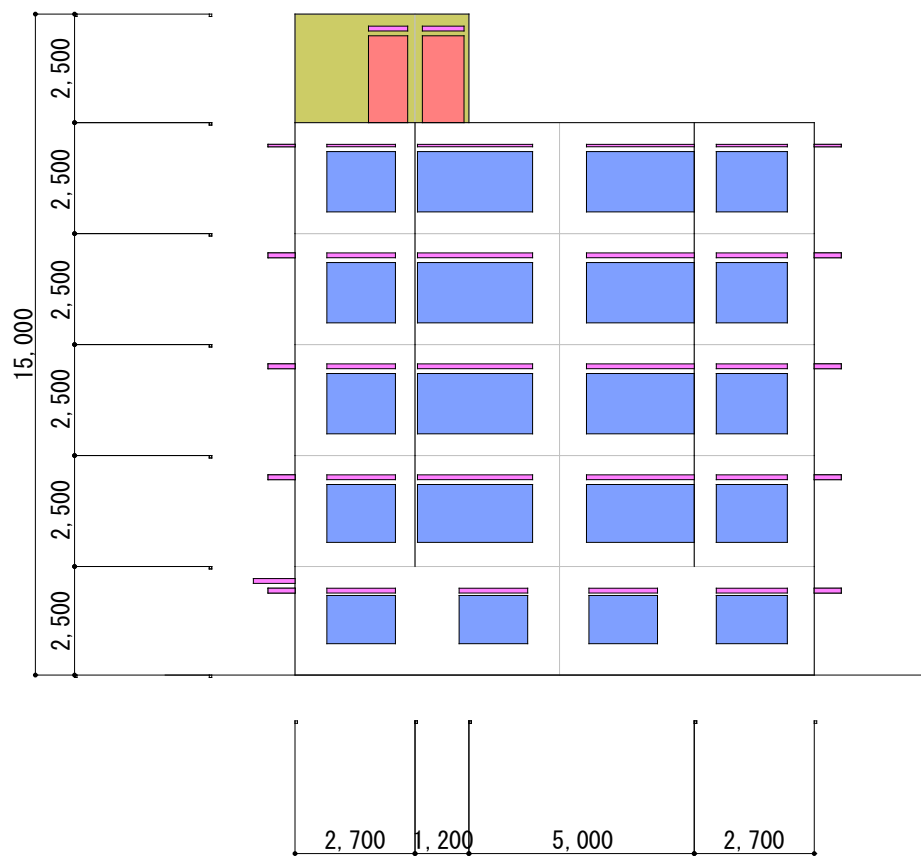


北西立面図



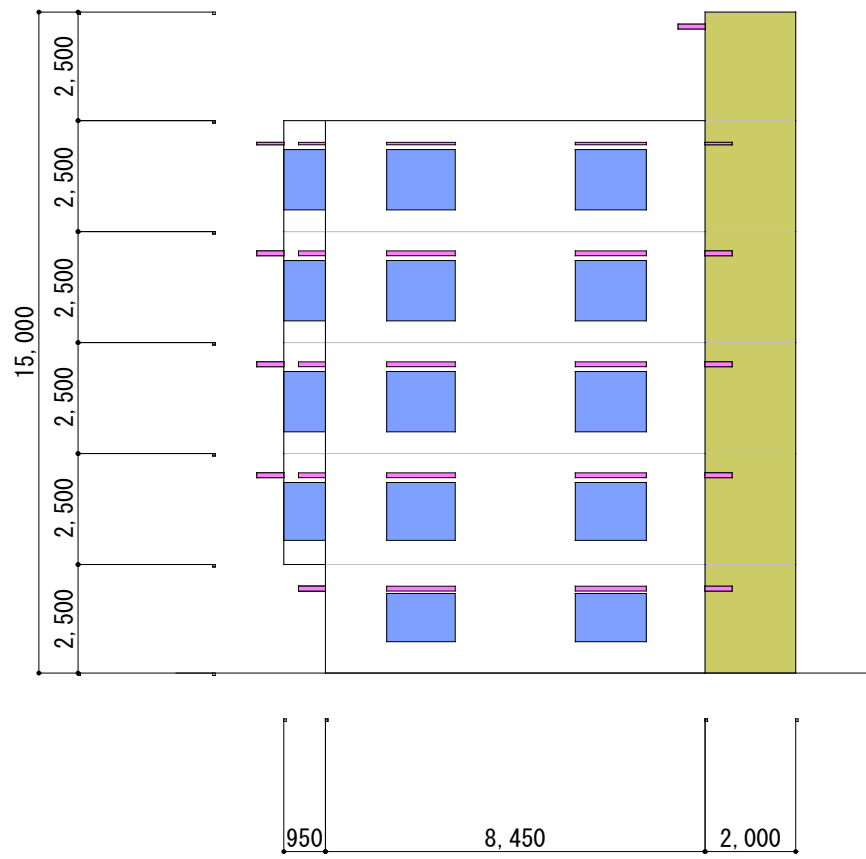
□ 日当り空調室 ■ 日当り非空調室 □ 日陰空調室 ■ 日陰非空調室

南西立面図



□ 日当り空調室 ■ 日当り非空調室 □ 日陰空調室 ■ 日陰非空調室

南東立面図



□ 日当り空調室 ■ 日当り非空調室 □ 日陰空調室 ■ 日陰非空調室

北東立面図

窓面積比率及び窓ガラスの種類の評価

方位	外皮面積[m ²]	窓面積[m ²]				窓ガラスの仕様	備考	
		幅[m]	高さ[m]	個数	面積[m ²]			
北西面	i=8	6.75	0.63	0.60	1	0.38	複層ガラス+明色ブラインド	
南西面	i=5	17.75	1.55	1.35	1	2.09	複層ガラス+明色ブラインド	
	i=6		0.63	0.60	1	0.38	複層ガラス+明色ブラインド	
	i=7		0.95	1.35	1	1.28	複層ガラス+明色ブラインド	
南東面	i=3	29	2.40	1.35	2	6.48	複層ガラス+明色ブラインド	
	i=4		1.55	1.35	2	4.19	複層ガラス+明色ブラインド	
北東面	i=1	23.5	1.55	1.35	2	4.19	複層ガラス+明色ブラインド	
	i=2		0.95	1.35	1	1.28	複層ガラス+明色ブラインド	
合計	77.00 m ²	20.26 m ²						
窓面積比率		26.3%						

過半を占めるガラス種類の判定

1) 複層ガラス+明色ブラインド : $4.18+1.28+6.48+4.18+2.09+0.37+1.28+0.37=20.26\text{m}^2$

以上より、複層ガラスを選択する。

建築物の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止(一般地域)

項目		措置状況	配点	得点	措置の概要	備考	
外壁の断熱性能		厚さが20mm以上の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材その他これに相当する断熱性能を有する断熱材を使用	65	55	スチレン発泡板(押出)25.0mm ($\lambda=0.037W/mK$) 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材での換算厚さ 19.59mm		
		厚さが15mm以上20mm未満の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材その他これに相当する断熱性能を有する断熱材を使用	55				
		上記に掲げるもの以外	0				
窓の断熱性能及び窓の日射遮蔽性能	窓の面積	窓面積比率が20%未満	40	25	窓面積合計 20.26㎡ 外壁面積合計 77.00㎡ 窓面積比率 = 0.263 = 26.3%	空調を行う室の外壁+窓の面積に対する、窓の面積の比率をいう。	
		窓面積比率が20%以上40%未満	25				
		窓面積比率が40%以上	0				
	ガラス種類	低放射複層ガラスを採用	35	30	複層ガラス+ 明色ブラインドを過半に採用		
		複層ガラスを採用	30				
		上記に掲げるもの以外	0				
ポイント(点数の合計)			(A)	110		(B)補正点	
地域:	一般地域	用途: 事務所等	補正点	(B)	35		ホテル等(40)、病院等(25)、店舗等(30)、事務所等(35)、学校等(35)、飲食店等(40)、集会所等(40)
ポイント(A)+(B)				145			

外気負荷の軽減に関する計算表

室名	室面積(m ²)	室数	空調面積(m ²)	全熱交換器 採用	バイパス制御 採用	備考
事務室1-1	36.15	1	36.15	○	○	
事務室1-2	23.20	1	23.20	○	○	
事務室2-1	39.00	1	39.00	○	○	
事務室2-2	30.83	1	30.83	○	○	
事務室3-1	39.00	1	39.00	○	○	
事務室3-2	30.83	1	30.83	○	○	
事務室4-1	39.00	1	39.00	○	○	
事務室4-2	30.83	1	30.83	○	○	
事務室5-1	39.00	1	39.00	○	○	
事務室5-2	30.83	1	30.83	○	○	
合計床面積			338.67	338.67	338.67	
採用面積比率			-	100.0%	100.0%	

熱源機器(室外機)の効率の計算表

機器名称	定格能力 (kW)		定格消費電力 (kW)		定格燃料消費量 (kW)		定格消費エネルギー量 (kW)		台数
	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	
EHP-01	20.00	22.40	3.90	3.30	—	—	20.57	18.95	10
合計	200.00	224.00	—	—	—	—	205.73	189.47	
冷房平均COP/暖房平均COP							0.97	1.18	
qC/qH							0.50	0.50	
冷暖房平均COP							1.077		

空調設備に係るエネルギーの効率的利用(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ地域共通)

項目	措置状況		配点	得点	措置の概要	備考
(1)外気負荷の軽減	空調対象面積の50%以上に全熱交換器を採用		J ₁	25	空調対象面積の100.0%に全熱交換器を使用したバイパス制御による外気冷房を採用。	J ₁ 、J ₂ ：表第2-2に掲げる数値
	空調対象面積の50%以上に全熱交換器を使用したバイパス制御による外気冷房を採用		J ₁ +J ₂			
	上記に掲げるもの以外		0			
(2)熱源機器の効率	パッケージエアコンディショナ又はガスヒートポンプ冷暖房機	冷暖房平均COPが1.25以上の熱源機器を採用	60	20	冷暖房平均COPが1.08の熱源機器を採用。	COP= $q_c \times \sum(C) / \sum(\alpha \times C_w / 3,600 + C_f)$ + $q_H \times \sum(H) / \sum(\alpha \times H_w / 3,600 + H_f)$
		冷暖房平均COPが1.00以上の熱源機器を採用	20			
		上記に掲げるもの以外	0			
ポイント(点数の合計)			(A)	45	補正点(B)：表第2-2のJ ₀	
地域：Ⅲ地域	用途：事務所等	補正点	(B)	65		
ポイント(A)+(B)				110		

換気を行う室一覧

部屋名	換気ファン						室数	1室あたり		換気方式
	型式	給気(m ³ /h)	排気(m ³ /h)	動力(W)	制御方法	高効率電動機		台数	面積(m ²)	
エントランスホール	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
機械室	パイプファン	0	75	6	在室検知制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室1-1	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室1-2	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
EVホール	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	4	4	—	第1種換気
事務室2-1	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室2-2	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室3-1	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室3-2	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室4-1	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
事務室4-2	天井扇	150	150	13	タイムスケジュール制御	採用	1	1	—	第1種換気
便所1	パイプファン	0	75	6	在室検知制御	採用	5	5	—	第3種換気
便所2	パイプファン	0	75	6	在室検知制御	採用	5	5	—	第3種換気
給湯室1	パイプファン	0	75	6	在室検知制御	採用	5	5	—	第3種換気
給湯室2	パイプファン	0	75	6	在室検知制御	採用	5	5	—	第3種換気
EV機械室	パイプファン	0	75	6	在室検知制御	採用	1	1	—	第3種換気
合計							35	35	—	—
全駐車場面積							—	—	0.00	—

空気調和設備以外の機械換気設備**に係るエネルギーの効率的利用

項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考
(1)制御方法	濃度制御を駐車場の全てに対して採用又は在室検知制御、温度感知制御、照明連動制御若しくはタイムスケジュール制御を駐車場以外の機械換気設備を設ける室の数の2/3以上に対して採用	40	40	在室検知制御、タイムスケジュール制御を駐車場以外の機械換気設備を設ける室の100.00%で行っている。	「濃度制御」とは、一酸化炭素又は二酸化炭素の濃度による制御の方法をいう。 「駐車場」とは、駐車のための施設の用途に供する室をいう。
	濃度制御を駐車場の合計面積の1/2以上に対して採用又は在室検知制御、温度感知制御、照明連動制御若しくはタイムスケジュール制御を駐車場以外の機械換気設備を設ける室の数の1/3以上に対して採用	20			
	上記に掲げるもの以外	0			
(2)高効率低圧三相かご形誘導電動機を採用	電動機の2/3以上	40	40	換気ファンの100.00%に高効率電動機を採用している。	「高効率低圧三相かご形誘導電動機」とは、日本工業規格C4212(高効率低圧三相かご形誘導電動機)に規定する高効率低圧三相かご形誘導電動機をいう。
	電動機の1/3以上2/3未満	20			
	電動機の1/3未満	0			
(3)給気機及び排気機による換気	駐車場の合計面積の1/2以下に対して採用又は機械換気設備を設ける室のすべてに対して不採用	10	0	給気機及び排気機による換気を採用している室がある。	
	上記に掲げるもの以外	0			
	ポイント(点数の合計)	(A)	80		
	補正点	(B)	80		
	ポイント(A)+(B)		160		

*空気調和設備及び定格出力0.2kW以下の機械換気設備を除き、定格出力の合計が5.5kW以上であるものに限る。

**エネルギーの使用上主要なもので、空気調和を行わない室に設けるもの。

照明区画一覧表

区画名		区画の仕様			
事務室(1F)	照明器具	光源の種類		高周波点灯専用型	
		蛍光ランプ		○	
	寸法	面積(m ²)	TAL面積(m ²)	層数	区画総面積(m ²)
		59.38	0.00	1	59.38
制御方法	在室検知制御、タイムスケジュール制御、ゾーニング制御				
事務室(基準階)	照明器具	光源の種類		高周波点灯専用型	
		蛍光ランプ		○	
	寸法	面積(m ²)	TAL面積(m ²)	層数	区画総面積(m ²)
		69.86	0.00	4	279.44
制御方法	在室検知制御、タイムスケジュール制御、ゾーニング制御				

照明設備に係るエネルギーの効率的利用(照明区画1: 事務室(1F))

項目	措置状況		配点	得点	措置の概要	備考
(1)照明器具の照明効率	蛍光灯(コンパクト型の蛍光灯を除く。)	高周波点灯専用型であるもの	12	12	Hf蛍光灯(高周波点灯専用型)を採用	1 「総合効率」とは、蛍光灯の全光束を蛍光灯と安定器の消費電力の和で除いた数値とする。 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。
		上記に掲げるもの以外	0			
	コンパクト型の蛍光灯、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用	6				
	LED型ランプを採用	6				
	上記に掲げるもの以外	0				
(2)照明設備の制御方法	7つの制御方法のうち2種類以上を採用		22	22	在室検知制御、タイムスケジュール制御、ゾーニング制御を採用	7つの制御の方法(カード、センサー等による在室検知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用制御、ゾーニング制御及び全局制御のことをいう。)
	7つの制御方法のうち1種類を採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
(3)照明設備の配置、照度の設定	事務室に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用		22	0	TAL方式は不採用	「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。
	事務室に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
	照明区画の面積 * 59.38 m ²	ポイント(点数の合計)	(A)	34		照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、* を記入する。
		補正点	(B)	80		照明区画が二以上ある場合の ** は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。
		ポイント ** (A)+(B)				

照明設備に係るエネルギーの効率的利用(照明区画2: 事務室(基準階))

項目	措置状況		配点	得点	措置の概要	備考
(1)照明器具の照明効率	蛍光ランプ(コンパクト型の蛍光ランプを除く。)	高周波点灯専用型であるもの	12	12	HF蛍光ランプ(高周波点灯専用型)を採用	1 「総合効率」とは、蛍光ランプの全光束を蛍光ランプと安定器の消費電力の和で除した数値とする。 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。
		上記に掲げるもの以外	0			
	コンパクト型の蛍光ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用	6				
	LED型ランプを採用	6				
	上記に掲げるもの以外	0				
(2)照明設備の制御方法	7つの制御方法のうち2種類以上を採用		22	22	在室検知制御、タイムスケジュール制御、ゾーニング制御を採用	7つの制御の方法(カード、センサー等による在室検知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用制御、ゾーニング制御及びび局所制御のことをいう。)
	7つの制御方法のうち1種類を採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
(3)照明設備の配置、照度の設定	事務室に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用		22	0	TAL方式は不採用	「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。
	事務室に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
	照明区画の面積 * 69.86 m ²	ポイント(点数の合計)	(A)	34		照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、*を記入する。
		補正点	(B)	80		照明区画が二以上ある場合の**は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。
		ポイント ** (A)+(B)				

照明設備に係るエネルギーの効率的利用(**ポイントの面積加重平均と最終ポイントの算定**)

項目	措置状況		配点	得点	措置の概要	備考
(1)照明器具の照明効率	蛍光ランプ(コンパクト型の蛍光ランプを除く。)	高周波点灯専用型であるもの	12	-		1 「総合効率」とは、蛍光ランプの全光束を蛍光ランプと安定器の消費電力の和で除した数値とする。 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。
		上記に掲げるもの以外	0			
	コンパクト型の蛍光ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用		6			
	LED型ランプを採用		6			
	上記に掲げるもの以外		0			
(2)照明設備の制御方法	7つの制御方法のうち2種類以上を採用		22	-		7つの制御の方法(カード、センサー等による在室検知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用制御、ゾーニング制御及び局所制御のことをいう。)
	7つの制御方法のうち1種類を採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
(3)照明設備の配置、照度の設定	事務室のに供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用		22	-		「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。
	事務室に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
	照明区画の面積 * 338.82 m ²	ポイント(点数の合計)	(A) 34		$(34 \times 59.38 + 34 \times 69.86 \times 4) / (59.38 + 69.86 \times 4) = 34$	照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、* を記入する。
		補正点	(B) 80			照明区画が二以上ある場合の ** は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。
		ポイント ** (A)+(B)	114			

給湯設備に係るエネルギーの効率的利用

	項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考
(1)配管設備計画	循環配管の保温	すべての循環配管について保温仕様1又は保温仕様2を採用	20	20	すべてについて保温仕様1または2を採用	1「循環配管」とは、給湯配管のうち行き管と還り管が組み合わされた副冠式の配管を 2「先止まり配管」とは、給湯配管のうち行き管だけの単管式の配管をいう。 3「一次側配管」とは、熱源と給湯用熱交換器を循環する熱媒のための配管をいう。 4「保温仕様1」とは、管径が40mm未満の配管にあっては、保温厚が30mm以上、管径が40mm以上かつ125mm未満の配管にあっては、保温厚が40mm以上、管径が125mm以上の配管にあっては、保温厚が50mm以上とした仕様をいう。 5「保温仕様2」とは、管径が50mm未満の配管にあっては、保温厚が20mm以上、管径が50mm以上かつ125mm未満の配管にあっては、保温厚が25mm以上、管径が125mm以上の配管にあっては、保温厚が30mm以上とした仕様をいう。 6「保温仕様3」とは、管径が125mm未満の配管にあっては、保温厚が20mm以上、管径が125mm以上の配管にあっては、保温厚が25mm以上とした仕様をいう。 7「保温材」とは、熱伝導率(単位1m1度につきW)が0.044以下の材料をいう。
		すべての循環配管について保温仕様1、保温仕様2又は保温仕様3を採用	10			
		上記に掲げるもの以外	0			
	一次側配管の保温	一次側配管に保温仕様1又は保温仕様2を採用	4	4	すべてについて保温仕様1または2を採用	
		一次側配管に保温仕様1、保温仕様2又は保温仕様3を採用	2			
		上記に掲げるもの以外	0			
	バルブ及びフランジの保温	循環配管もしくは一次側配管に設けるバルブ及びフランジに保温仕様3を採用	2	2	循環配管及び一次側配管のバルブ及びフランジに保温仕様3を採用	
		上記に掲げるもの以外	0			
	循環配管及び一次側配管の経路及び管径	すべてについて経路を最短化、かつ、管径を最小化	2	2	経路の最短化、管径の最小化を図っている	
		上記に掲げるもの以外	0			
先止まり配管の経路及び管径	すべてについて経路を最短化、かつ、管径を最小化	1	1	経路の最短化、管径の最小化を図っている		
	上記に掲げるもの以外	0				
(2)給湯設備の制御の方法	循環ポンプの制御方法	給湯負荷に応じた流量制御、台数制御又は発停制御などの制御方式を採用	2	0	その他の制御を採用	
		上記に掲げるもの以外	0			
	共用部の洗面所給水栓の制御の方法	共用部の洗面所の水栓に自動水栓を採用	2	0	自動給水栓は利用していない	
		上記に掲げるもの以外	0			
	シャワー制御の方法	節水型の自動温度調整器付きシャワーを採用	5	0	シャワーの利用なし、もしくは節水型の自動温度調整器付きシャワー以外のシャワーを採用	
		上記に掲げるもの以外	0			
(3)熱源機器の効率	熱源機器を潜熱回収型給気器もしくはヒートポンプ式給湯器を採用している	10	0	潜熱回収型給湯器もしくはヒートポンプ給湯器を採用していない		
	上記に掲げるもの以外	0				
(4)太陽熱を熱源として利用した場合	太陽熱を熱源として利用した場合	10	0	太陽熱は利用しない		
	上記に掲げるもの以外	0				
(5)給水を予熱した場合	給水を予熱した場合	5	0	給水の予熱は行わない		
	上記に掲げるもの以外	0				
		ポイント(点数の合計)	(A)	29		
		補正点	(B)	80		
		ポイント(A)+(B)		109		